

## 平成 26 年度第 2 回三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進協議会議事録

1 開催日時 平成 26 年 9 月 19 日（金曜日）13 時 30 分から 15 時 30 分

2 開催場所 三重県津庁舎 66 会議室

3 協議内容

### 【審議事項】

(1) 第 3 次三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進計画（2015-2018）  
中間案について

4 概要

（開会行事、事務局からの説明は省略）

(1) 主な委員意見

### 【委員意見】

「適合証プレート」の発行ですが、新築のみになってはいますが、既存建物でもスロープをつくったりするなど、バリアを取り除いて努力されているところも、ありますが、こういったものを認定していくものがあればよいと思いますが、何か検討はしていますか。

→（事務局回答）

厳密には、既存の建物であっても、現在の UD 条例の整備基準に適合している場合は、「適合証プレート」の交付申請を提出いただければ、お渡し出来ます。

ただし、既存の建物を現在の整備基準に適合させようと思うと、多くの場合、新たな工事等が必要となりますので、最終的に「適合証」を取得するまで至るケースは、かなり少ないのではないかと思います。

例えば、階段に手すりを設置したり、点字の案内板をつけるなど、少しずつでもステップアップすることは、大変ありがたいと考えていますが、今現在それらに対する「証」というのは、ご用意していません。

### 【委員意見】

中間案の 18 ページの「3 わかりやすい情報・サービスの提供」のところで、「わかりやすい情報の提供のためのガイドライン」の周知、促進等と書いてありますが、どのような内容になりますか。

→（事務局回答）

現在も、（県職員向けの）印刷物等を作成する場合のマニュアルのようなものは、ありますが、作成から年月が経ってしまっているので、今年度（平成 26 年度）中に見直しを図ったうえで、県職員を中心に周知していきたいと考えています。

### 【委員意見】

例えば、外国の方にもわかりやすい日本語表記とか、ピクトグラムなんかについても盛り込まれているとありがたいと思います。

→（事務局）

字の大きさやカラーユニバーサルデザインに関する配慮、または点字や音声での情報提供、外国人や子どもにもわかりやすい日本語を使うことなどを記載することを考えています。

【委員意見】

成果のところ、中間案では数字が文書の中にデータが入れているので見にくいのではないかと。中間案を第2次計画と比較すると表形式の方がわかりやすいのではないのでしょうか。

→（事務局）

文書を残しながら表も入れることを考えていきます。

【委員意見】

研修、セミナーのことばの使い分けはどうしていますか。

高齢者への啓発が少ないのではないのでしょうか。

ホームページが万能ではないので、他の映像などを使った方法なども検討されてはどうでしょうか。

→（事務局）

年1回職員向けのUDセミナーを実施しており、これをセミナーとしており、それ以外は研修としています。

UDについては、一般に広くわかっていただくことが必要であるので、高齢者も含めて、広く研修などの啓発を行っていきたいと考えています。

映像については、有効な啓発方法と考えますが、費用面での課題もありますので、さまざまなUDの啓発活動の場面などをマスコミで取り上げていただくことなどを考えています。

【委員意見】

バリアフリー観光などは、県の南の方は進んできているが、北の方はバリアフリー化されたホテルなどが少ないと思う。県ではどう感じているか。

→（事務局）

バリアフリー観光については、観光部局で取り組んでいるところであり、伊勢志摩地域から始まってきており、今後全県的に取り組んでいきます。ソフト面の整備がされた施設の情報はわかりやすくなっていませんが、ハード整備は適合証プレートを交付してバリアフリー化した施設の明確化をしています。

【委員意見】

三重県としての特徴的な取組ありますか。

→（事務局）

バリアフリー観光などソフト的な取組は特徴的であり、商業施設などへの広がり

も考えています。

**【委員意見】**

広報誌などで、適合証のマークなどを広報するとUDの意識の啓発につながるのではないのでしょうか。

→（事務局）

検討していきます。

**【委員意見】**

路線バスの導入率の数字は新しいものにできるのではないのでしょうか。また、ノンステップバスの導入については促進するとかかかれているがその意味するところは何でしょうか。

→〔事務局〕

導入率は新しい数字が発表されるのでそれを記載します。ノンステップバスについては、県からの補助ができていない状況があるので促進という表現にしております。

**【委員意見】**

駅前広場やそこに至る経路のバリアフリー化などの考え方はどのようになっていますか。

地域社会の見守りの中で子どもが元気に育っていると実感している方が少ないと書いているが具体的施策がないように思います。

文章全体として、わかりやすくして欲しいと思います。

→（事務局）

バリアフリー基本構想が県内5駅の周辺で作成されており、面的な整備を行っています。その他の地域では、UD条例に基づいた整備をしていただくこととなります。

UDの取組としてはマタニティマークなどの意識啓発を書いています。具体的な子育て支援施策は子育ての計画に書くこととなります。

文章全体でデータの見せ方などの表記を検討して修正します。

**【委員意見】**

適合証プレートのデザインの色が以前と変わってきているが理由は何でしょうか。

→〔事務局〕

カラーユニバーサルデザインに配慮して当初とは変わっています。

**【委員意見】**

三重県では配慮が必要な方が多く生活していると書かれているが本当に多いのか。

→（事務局）

他県に比較して多いという意味ではないので、表現を検討します。

→ 【委員意見】

多目的トイレがある場所とかが一目でわかる地図とかはありますか。

→ (事務局)

UDに配慮された適合証を交付している建物の一覧表をホームページにあげています。

→ 【委員意見】

外国人のUDの関係で、食文化などの観点でも書いてはどうでしょうか。

→ (事務局)

担当部局と相談して検討します。

(以上)